

九州歯科大学百周年に寄せて

公立大学法人 九州歯科大学
理事長・学長
西原 達次

2014（平成 26）年、九州歯科大学は創立百周年を迎えることができました。これもひとえに皆様方の温かいご支援の賜物と衷心より御礼申し上げます。

我が国において、歯学部を設置する大学 29 校の中で唯一の公立大学である九州歯科大学の 100 年の歴史を振り返りますと、1914（大正 3）年に、初代校長國永正臣先生のもとで福岡市因幡町に九州歯科医学校として開設されたところから、その歩みを開始しました。1924

（大正 13）年に福岡市今泉町に校舎を新設し、その翌年、九州歯科医学専門学校としての指定を受けました。1936（昭和 11）年に、現在地小倉市真鶴町に建設された校舎での教育が始まりましたが、第二次世界大戦のなか、1944（昭和 19）年に医学科が併設され、福岡県立医学歯学専門学校と改称されました。戦後、1947（昭和 22）年に医学科が廃止され、福岡県立歯科医学専門学校に改組されました。その後、1949（昭和 24）年に施行された新たな学制のもと新制九州歯科大学としてスタートし、福岡県の温かいご支援のもと 57 年間、福岡県立九州歯科大学として活動してまいりました。近年、多くの公立大学が法人化していくなかで、九州歯科大学は、2006（平成 18）年に県立大学から福岡県を設置団体とする公立大学法人九州歯科大学となりました。2010（平成 22）年、歯学部には 4 年制の口腔保健学科を設置し、2014（平成 26）年の口腔保健学修士課程の大学院開設をもって、口腔医学の総合大学を目指した教育研究活動を展開するに至りました。このように、我が国における歯学教育の先陣を切るなかで、第二次世界大戦という大きな歴史の流れを乗り越えて、今日に至った道のりは決して平坦なものではありませんでした。私どもは、多くの先輩諸氏が艱難辛苦のなか、九州歯科大学を発展させてきたことを決して忘れることなく、これからも公立大学法人という特色を活かした教育・研究・臨床活動を展開していくことをお誓い申し上げます。



現在、我が国における歯科医療においては、歯科医療の進歩と急速な少子高齢化を受けて、歯科疾病構造が大きく変化しています。それに呼応して、歯科医療職に対して、これまで以上に科学的根拠に基づく歯科医療（いわゆる Evidence-Based Dentistry）を実践する能力が求められます。とくに、日常の歯科医療活動において、自ら医療現場で課題を見出し、その課題を解決するために必要なロジカルシンキングおよびクリティカルシンキング能力を養うことはきわめて重要であり、大学に対して、そのための体系的な教育体制作りが求められています。さらに、多角的な視点から課題を解決するためには国際的な視野を持つことも重要となってきます。そのような時代の流れを踏まえ、九州歯科大学は、2013（平成 25）年に、伝統ある九州歯科大学の英語表記を Kyushu Dental College から Kyushu Dental University に変更しました。あわせて、ミャンマーのヤンゴン歯科大学およびマンダレー歯科大学、台湾の高雄医科大学、香港大学、タイのシーナカリンウイロート大学、インドのシュリ・ラーマチャンドラ大学、フィンランドのヘルシンキ大学、カナダのブリティッシュコロンビア大学、あわせて 8 大学と新たな歯学

教育研究連携協定を結び、学生と教職員の連携を深める海外活動を開始しました。今後、多くの学部学生、大学院生が海外教育連携校での生活を経験して、グローバルな視野を持った歯科医療人となることを切望しております。

このような取組みを遂行していくと申し上げたうえで、今回、私から一つの行動規範を提言させていただきます。それは、「Think globally, act locally（世界規模で考え、足元から行動せよ）」です。この言葉から、先駆的精神を醸成し、自ら課題を解決できる歯科医療人を養成することがこれからの歯科医療を変革していくうえできわめて重要であるということを感じていただき、九州歯科大学が、現在展開中の歯科医学教育イノベーションを加速させ、歯科医療界において、強いリーダーシップを発揮する人材の育成を推進していくことをご理解いただければ幸甚に存じます。



さらに、2014(平成26)年、本学はDomain Identity, Visual Identity, University Identityを制定し、そのブランドゴールとして、Local and Global Collaborative Dental Educationを謳いあげました。その精神のもと、私どもは、他職種と協働して地域社会に貢献し、その経験を活かしてグローバルな視野で活躍できる人材を育成してまいります。このような活動を支えるという考えのもと、私どもは、創立百周年を機に九州歯科大学基金を設置し、「国際的口腔保健活動のフロントランナー育成事業」を成長戦略の一つとして掲げ、全力で大学運営に取り組む所存でございます。

むすびに、本学を代表し、重ねて、皆さまの本学へのご厚情とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます、百周年のメッセージとさせていただきます。